



平成20年度配管設計講習会（中部会場：8月4日～8月6日、関東会場第1回：8月20日～8月22日、中国四国会場：9月3日～9月5日、東北会場：9月3日～9月5日）

水道事業体職員及び設計業者の方々、中部会場58名、関東会場57名、中国四国会場52名、東北会場51名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

震災対応等特別調査委員会／第2回耐震化推進方策検討小委員会（8月12日）

耐震化阻害要因に関するアンケート調査の集計結果、及びワーキンググループの設置について事務局より説明を行い了承された。委員会終了後には各ワーキンググループに分かれて審議・検討を行った。

震災対応等特別調査委員会／第2回緊急時の対応に関する小委員会（8月25日）

はじめに議題1「検討結果」について事務局から報告があり、審議の結果了承された。

続いて議題2「主な改訂内容」について、「地震等緊急時対応に関する報告書」改訂案の主な改訂ポイントについて事務局より説明があり審議を行った。その後、今後のスケジュールについて事務局より説明があった。

第29回水道 GLP 認定委員会（8月27日）

桐生市水道局水質センター及び福岡県南広域水道企業団施設部水質センターの水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。また、阪神水道企業団技術部水質試験所（認定番号：JWWA-GLP012）及び福岡市水道局浄水部水質試験所（認定番号：JWWA-GLP013）のサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

第1回業務委託積算要領検討委員会（8月27日）

はじめに委員長の互選を行い、尾根田東京都水道局建設部技術管理課長が選任された。

続いて、業務委託積算要領の作成に関するアンケート調査結果について、事務局から報告した。また、今後の検討の進め方、方針及びスケジュールについて、事務局から説明を行い、了承された。

JIS マーク表示制度認証授与式（8月27日）

第28回 JIS 製品認証業務判定委員会において、各申請者の初回認証判定について、適合と判定され、このうち、兼工業(株)小牧工場、(株)ヨシタケ及び幡豆工業(株)の JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



兼工業(株)小牧工場



(株)ヨシタケ



幡豆工業(株)

平成20年度漏水防止講座（第2回：8月27日～8月29日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々85名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術・漏水防止関連機器操作」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使用して実地研修を行った。

第128回事務常設調査専門委員会（8月28日）

人事異動による委員の変更により、委員長が不在となっていたことから、始めに議題①「委員長の互選」を上程し、委員長には横浜市水道局副局長兼総務部長の川副委員が、またこれにより空席となった副委員長には東京都水道局総務部長の小山委員がそれぞれ選出され

た。次に報告事項①「水道ビジョンの改訂」、報告事項②「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震等による水道施設等の被害状況と日本水道協会の対応」、報告事項③「水道の安全保障に関する検討会」について、報告事項①は厚生労働省から報告いただき、また、報告事項②及び③は事務局より報告を行った。

続いて、議題②「事務常設調査委員長報告」について上程し、審議の結果、事務局案のとおり決定した。



水道事業国際貢献推進室の設置（9月1日）

今日、水道事業運営においても国際的活動を求められる機会が増えており、水道事業者による国際活動を推進するため、本会では研修国際部国際課に水道事業国際貢献推進室を設置した。推進室の業務内容は、日本の水道事業に関する情報の発信、海外の水道事業に関する情報の収集、水道事業に係る国際関係事業の受託などである。



平成20年度水道事業管理者研修会（9月2日～9月3日）

23名の参加を得て、「水道事業経営の課題」「水道事業の現状と課題」「水道事業と訴訟」「水道事業経営－民間の経営手法の概要－」について研修を実施した。

また、特別講演として作家・随筆家の半藤一利氏が「近代史にみるリーダー論」と題して講演を行った。

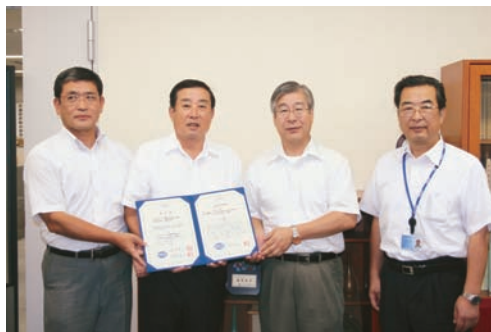


水道 GLP 認定証授与式（9月3日、9月11日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



9月3日桐生市水道局水質センター



9月11日福岡県南広域水道企業団施設部水質センター

第260回理事会（9月4日）

御園専務理事が議長となり、報告事項1「平成21年度水道関係予算の概算要求について」、特別出席の粕谷厚生労働省水道課長、井上総務省公営企業経営企画室長から説明があった。続いて、報告事項2「水道の安全保障に関する検討会の設置について」、報告事項3「第60回全国水道研究発表会の開催地及び開催期日について」、報告事項4「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震等による水道施設等の被害状況と日本水道協会の対応について」、報告事項5「実務に活かす「上水道事故事例集」の発刊について」、報告事項6「平成19年度水道賠償責任保険等の実績について」、それぞれ事務局より説明を行い、報告のとおり了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成19年度日本水道協会会計決算について」、第2号議案「日本水道協会大阪会館の改築について」、第3号議案「平成21年度日本水道協会会計予算について」、第4号議案「平成21年度上水道関係予算に対する要望について」、第5号議案「日本水道協会第77回総会会員提出問題について」の5件について事務局から諮り、審議の結果、原案のとおり決定した。

また、会議終了後、第4号議案の議決に基づき、財務省に対して陳情を実施した。



第3回水道の安全保障に関する検討会（9月4日）

水を巡る問題が様々な場で議論されていることを踏まえ、去る6月3日に「水道の安全保障に関する検討会」を設置し、今後の日本の水道事業のあり方、並びに今後の国際活動のあり方について検討を進めている。

9月4日に開催された第3回の検討会では、検討会が行う提言の方向性について審議した。



第623回抄録委員会（9月4日）

神奈川県企業庁水道電気局谷ヶ原浄水場にある津久井分水池などを視察した後、同浄水場会議室において本誌12月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。



第13回 ISO 審査登録センター・運営委員会（9月9日）

第13回 ISO 審査登録センター・運営委員会（委員長 茂庭竹生東海大学工学部土木工学科教授）を開催し、議題(1) 前回議事録の確認について、(2) マネジメントレビューについて、(3) 審査登録業務終了について報告し、異議なく了承された。



第868回会誌編集委員会（9月9日）

本誌10月号、11月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

平成20年度未納料金対策実務研修会（東京第2回）（9月11日～9月12日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々81名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

震災対応等特別調査委員会／第3回 耐震化推進方策検討小委員会（9月17日）

はじめに、耐震化阻害要因に関するアンケート調査の追加ヒアリング結果について事務局より報告し、その後、各ワーキンググループよりこれまでの検討内容について報告を行った。続いて、9月24日に行われる震災対応等特別調査委員会への中間報告内容について、事務局より説明し了承された。委員会終了後には各ワーキンググループに分かれて審議・検討を行った。

（お知らせ）

ISO 審査登録センター審査登録業務の終了について

当センターは、2000年1月設立以来、多くの関係者からご愛顧頂いて参りましたが、2008年8月31日で審査登録業務を終了することになりました。

なお、JAB 認定辞退は9月15日です。また、2009年3月までは下記連絡先を開設しております。

（社）日本水道協会 ISO 審査登録センター
〒102-0074 千代田区九段南4-8-9
TEL：03-3264-2759 E-mail：iso@jwwa.or.jp